

アグリ ワーク ポイント AGRI WORK POINT



病害虫の発生に注意しましょう

茶指導販売課 菊川 響



7月から梅雨が明け、蒸し暑い日が続きます。この時期に生育した枝葉は、翌年一番茶の母枝・母葉となり収量・品質に影響を与えます。気温が高くなるため、熱中症に注意しつつ、土壌管理などを行い茶樹の生育しやすい環境を整えましょう。

土壌改良資材の施用

土壌のpH値を適正に保ち、生育に適した環境をつくるために石灰資材などを施用します。定期的に土壌分析によってpH値を確認し、土壌環境に合った施肥を行いましょう。

除草

夏期は雑草が多く発生します。雑草が多く発生すると、茶園の景観が悪化するだけでなく茶葉の光合成も妨げられてしまい、生育に影響することもあります。除草剤などを使用し、計画的に除草を行いましょう。

※各地区の防除規制が出ている場合は除草剤の散布も禁止されているため、注意してください。

病害虫の防除

7月は気温が高く、病害虫の動きが活発になります。茶園の様子を確認し、防除適期を逃さないようにしましょう。

7月中～下旬頃

①チャノキイロアザミウマ・チャノミドリヒメヨコバイ

管内では例年よりも早く発生した茶園も見られたので、茶園をよく観察し適期、防除を行いましょ。

②チャハマキ・チャノコカクモンハマキ、チャノホソガ

高温・少雨により発生数が増加することがあり、日本気象協会によると7月の気温は平年並みか高いと予想されているため、注意が必要です。

※大井川農協HP↓農作物を作る↓営農↓JA大井川環境保全情報にて、管内各地区のフェロモントラップ予察情報を掲載しています。発生数をこまめに確認し防除のタイミングを逃さないようにしましょう。